神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO. 21－9】 2022年2月25日発行

横浜市中区桜木町3－9平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

「75歳以上2倍化中止署名」27,638筆国会に提出！！

2月18日、参議院議員会館で「75歳以上2倍化中止署名提出集会」が開催。会場30人、ZOOM63人＋YouTubeで参加しました。神奈川からは、根本事務局長と揚妻事務局次長が会場参加。民医連・片倉さん、ユーコープ労組・星さん、建設労連・村尾さん、川崎社保協・光野さんがZOOM参加しました。

全国から寄せられた20万4692筆の署名が提出されました。神奈川からは、27,638筆（うち3446筆は1/19の神奈川国会行動で提出）。内訳は、ユーコープ2844、福保労118、自交総連10、年金者組合2627、新婦人11433、民医連6893、横浜市社保協1491、相模原市社保協750、その他98。さらに建設労連2万筆以上などの報告があり、5万筆を超えた到達点です。公団自治協は、年明けから署名を開始しました。

議員に署名をわたす揚妻さん(右から3人目)

署名提出の紹介議員一覧（敬称略）

＜衆議院議員＞

早稲田夕季	（神奈川4区）	立憲民主党
笠　浩史	（神奈川9区）	立憲民主党
阿部　知子	（神奈川12区）	立憲民主党
青柳陽一郎	（比例南関東）	立憲民主党
山崎　誠	（比例南関東）	立憲民主党
志位　和夫	（比例南関東）	日本共産党

＜参議院議員＞

真山 勇一	（神奈川選挙区）	立憲民主党
小池　晃	（比例）	日本共産党
田村 智子	（比例）	日本共産党

開会あいさつした中央社保協の住江憲勇代表委員（保団連会長）は、岸田政権の政策は「新自由主義そのものだ」と批判。参院選で「市民と野党の共闘が、自公と補完勢力を凌駕できるよう各分野のたたかいを進めよう」と語りました。佐久大学特任教授の唐鎌直義さんは、1人当たりの社会保障給付は、高齢者向けの分野（年金など）、家族、失業、積極的労働政策（職業訓練など）といった現役世代を支える給付ともに先進国最低水準だと指摘。「日本の経済の力を生かし、それにふさわしい社会保障を実現しよう」と呼びかけました。各団体の代表が発言し、全日本年金者組合東京都本部の杉山顧問は「コロナ禍のもと、年金引き下げとあわせ高齢者の人権・生存権を脅かす」と述べ、中止へ向け奮闘すると表明。神奈川から根本事務局長が、介護の電話相談に寄せられた声を紹介し、「2倍化は高齢者をさらに追い詰めるものだ」と強調しました。日本共産党の倉林明子参院議員、立憲民主党の鎌田さゆり、山崎誠の両衆院議員があいさつし、「参院選で医療費負担増の方向を改め、社会保障充実・いのちが第一という政治を実現しよう」と表明しました。

集会後、地元議員に紹介議員要請。青柳陽一郎さん、真山勇一さん、志位和夫さん、小池晃さん、田村智子さんに続いて、笠浩史さん、山崎誠さん、阿部知子さん、早稲田夕季さんが紹介議員となりました。今後、中央主催と神奈川の国会行動は、6月まで予定される通常国会の会期中行われます。75歳以上医療費2倍化中止署名はその都度提出して、紹介議員の要請をします。署名を大きく広げましょう。

＜事務局長名で、在日ロシア連邦大使館、ロシア連邦大使に送りました＞

ロシアのウクライナ侵攻に強く抗議し、即時撤退を求める

2月24日、ロシア軍がウクライナに侵攻し、ウクライナ国民の命を脅かし、施設などを破壊する蛮行を行なっている。いかなる理由があろうとも、武力による他国への侵攻は許されるものではない。プーチン大統領は「自衛のため」と言っているが、ウクライナがロシアに侵攻した事実はなく、「自衛」とは偽りと詭弁でしかない。いまだ世界には、さまざまな紛争があるが、多くの国は武力ではなく、話し合いによる解決をめざしている。2度の惨禍によって確立された国際的なルールや秩序を破壊する行為は許されるものではない。

私たちはロシアのウクライナへの侵攻に強く抗議し、ただちに撤退することを求める。在日ロシア連邦大使館、在日ロシア連邦大使として、ウクライナへの侵攻を直ちにやめるよう、本国に要請していただきたい。

学習会「介護保険のいまと未来を考える」80 人超参加！！

2 月 6 日、横浜市で介護学習会「介護保険のいまと未来を考える」（実行委員会主催）を開催。介護事業者から、「コロナ感染の対応のため参加できない」という連絡が入るなど厳しい状況での開催でしたが、会場参加 17 人、オンライン視聴 63 ケ所と、80 人を超える方が参加。北海道や沖縄など全国からの視聴がありました。

実行委員の星めぐみさん（生協労連ユーコープ労組）が、司会を兼ねて開会あいさつ。全日本民医連事務局次長の林泰則さんが「中央社保協『介護保険制度の抜本改革提言(案)』はなにを示しているか」を講演。神奈川民医連の片倉博美事務局次長が、「補足給付見直しによる影響アンケート調査結果」を報告。県社保協の根本隆事務局長が、「介護・認知症なんでも電話相談のまとめ」を報告。その後、質疑・交流し閉会しました。

介護現場、利用者に困難が広がっている

家族まかせにせず、社会全体で支える介護にと、「介護の社会化」を謳って 2000 年にスタートした介護保険。

林さんは、「介護保険制度は、利用者（受益者）負担、保険給付の上限設定（支給限度額）をはじめ、出来るだけサービスの利用を抑え込む仕組みを組み込んで創設された。施行後、政府による相次ぐ制度の見直し（改悪）がされている」。「こうした経過の中で利用者や介護現場での様々な困難が広がっており、さらに介護保険自体が、①保険あって介護なしという制度の機能不全、②打開を見通せない深刻な介護の担い手不足、③保険料の支払い困難がまねく財政破綻という危機的な状況に直面している」と指摘しました。

憲法２５条を土台に、『本来の社会保険』に転換を求める

「コロナ感染症は、政府がすすめてきた改革（改悪）が、地域の介護基盤をいかに切りくずしてきたかを浮き彫りにした」。「介護が社会を維持するために不可欠なものであり、その担い手の処遇が低く留め置かれている現実を改めて社会に再認識させた」。「高齢化の進展に伴い、介護の需要は今後いっそう増大する。いま必要なのは、創設時に立ち返った介護保険制度の立て直し＝「再設計」。憲法 25 条を土台にすえ、介護が必要な時に必要なサービスが保障される『本来の社会保険』へと転換させる。国、自治体が介護保障に最終責任をもつ方式に切り替えることが不可欠。その裏付けとなる財政措置の強化（保険財政に対する国庫負担割合を大幅に増やす、介護保険財政とは別立てで公費を大胆に投入する）も必要」と提言案を紹介しました。

「介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名」を大きく広げよう！！

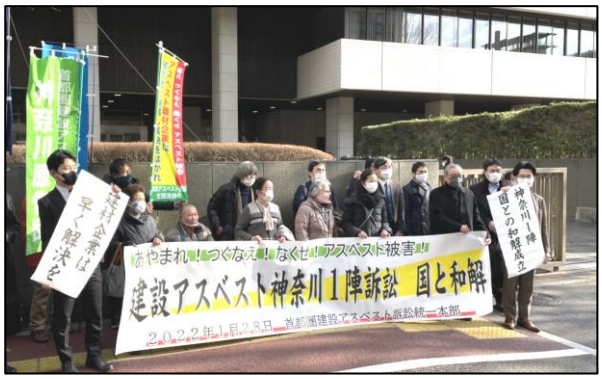
「介護保険制度の矛盾点について、現場で感じていたことを裏付けられ、また根本的な制度の問題について認識できました」。「困難事例に関わることが多いですが、経済の問題は本当に深刻です。年金だけで施設が検討できない現実、遠い親族にまで頼らないといけない現実、しかし、親族の関係も疎遠な現実の中、制度のはざまを埋める善意にたよりつつなんとかしのぐ状況。提言案について、周囲とも共有しつつ、運動につなげる視点で自分にできることを考えたいと思いました」。「介護保険は、社会保障分野での新自由主義路線のフロントランナーとしての役割とその結果としての国民の困難の深刻化を示すものとなっていることを整理することが出来ました。そのため、介護保険制度の改善のための世論形成には、新自由主義との全面的に立ち向かう必要性を実感させられました」。「社保協の緊急提言は大変共感します。是非、多くの人に広げて運動をつくっていきましょう」などの感想が寄せられました。

介護学習会ののち、介護のつどい実行委員会を開催し、いま取り組んでいる「介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名」を大きく広げていくことを確認しました。「介護の抜本改善」の運動を広げましょう。

全面解決めざし、建材メーカーとのたたかいが山場

神奈川２陣　最高裁で建材企業に勝利確定

神奈川・建設アスベスト訴訟



2020年8月に東京高裁で勝利し、最高裁に上告されていた神奈川２陣訴訟は、２月９日、最高裁が、建材メーカー3社（ニチアス、エーアンドエーマテリアル、ノザワ）の上告を不受理とし、原告44人中38人について勝利が確定しました。残る４人は解体作業についての建材メーカーの責任について3月28日に弁論を開きその後判決となります。また2人は高裁での敗訴が確定しました。今回の決定は、建材メーカーの責任割合を高い水準で認めた東京高裁判決を最高裁で確定したことに大きな意味があります。

神奈川２陣原告団長の望月道子さんは、「建材メーカーは私たちの前で謝罪してほしい」、鍵山知栄さんは「建材メーカーは全面解決を決断してほしい」と記者会見で訴えました。

同じ日に、九州１陣訴訟についても最高裁は建材メーカーの上告を不受理とする決定を出し原告勝利の福岡高裁判決が確定しました。九州１陣訴訟の決定は、外装材メーカーの賠償責任を認める内容で、賠償責任を負う建材メーカーが広がりました。これらの最高裁決定は、私たちの求める完全な補償基金制度の確立（建材メーカーが国の賠償給付金制度に拠出する形での解決）に大きな後押しとなります。国との関係では、２陣原告全員が最高裁での和解が予定されています。

神奈川１陣 差し戻し審で国と和解、神奈川３陣 地裁で国と和解

神奈川１陣訴訟は５月の最高裁判決で20人が勝訴確定し、50人が勝利を前提に高裁に差し戻されていました（4人は敗訴）。1月28日、東京高裁で開かれた差し戻し審で、34人の和解が成立しました。残る16人は次回3月25日に和解が成立する見込みです。

一方、建材メーカーとの関係では、22人が差戻しとなり、2月10日に東京高裁で第1回目の差し戻し審が開かれました。企業は最高裁判決で確定した争点を再度主張し裁判の引き延ばしともとれる姿勢を示しています。次回口頭弁論期日は5月16日14時に開かれます。

3陣訴訟は1月26日、横浜地裁で29人中16人について、国との和解が成立しました。残る原告の多くも和解が成立する見込みです。今後は建材メーカーの責任範囲や屋外作業者の救済などを争点にすすみます。次回以降の口頭弁論期日は、3月9日、5月30日、7月4日、8月1日、9月14日、いずれも10:30開廷で、7月以降は原告の証人尋問が予定されています。

全面解決求め「国会請願署名」に取り組む

神建連は全国の仲間とともに、国との関係で残された課題（①屋外作業の救済、②救済される従事期間の拡大、③20年の時効）の解決と、建材メーカーに賠償責任を果たさせるため、賠償給付金法を改正し、救済範囲の拡大と建材メーカーの費用負担を求める国会請願署名に取り組みます。全面解決にむけて、法廷内外での建材メーカーとのたたかいが山場を迎えます。

＜建設アスベスト訴訟神奈川原告団ニュースより転載＞

公正判決を求める署名を広げよう！！

神奈川年金違憲訴訟、神奈川生存権裁判とも、結審（予定）で、年内に判決が出される予定です。

公正判決を求める署名を広げましょう。

●神奈川年金違憲訴訟・結審

２月７日、東京地裁で神奈川年金違憲訴訟の口頭弁論が行われ、結審となりました。

判決日は７月27日（水）14:00～。

●神奈川生存権裁判 4/20 結審

横浜地裁で神奈川生存権裁判は、４月20日（水）の口頭弁論で、結審する予定。

年内判決の見通しです。

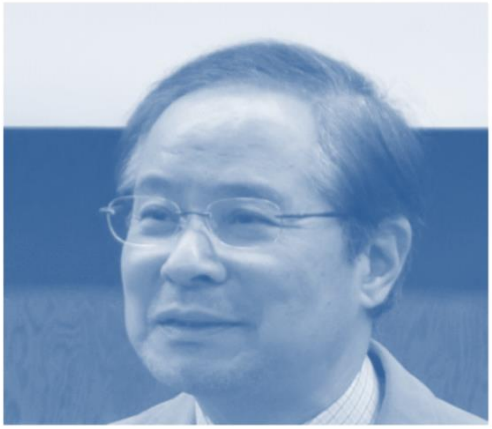
『消費税は社会保障のためって本当？』

消費税ネット学習会

【講師】 佐久大学人間福祉学部特任教授　唐鎌　直義 氏

「日本は高齢化社会に向かうため、社会保障にあてる」という理由で、1989年に消費税は導入されました。その後も「社会保障の安定化と充実のために用いる」からと、5%、8%そして10%に消費税率はアップしてきました。しかし、医療制度や年金、介護保険など社会保障は充実するどころか、むしろ後退しています。

消費税は社会保障のためって本当なんでしょうか？そして社会保障を充実するには、もっと消費税率を上げないといけないのでしょうか？私たちのくらしに直結するこのテーマについて、ご専門の唐鎌先生にお話しをうかがいます。ぜひご参加ください。



と き　4月16日（土）17時～18時30分

ところ　※コロナの蔓延状況により、「②Web配信」のみになる可能性あり

①建設プラザかながわ

②Web配信

≪３月の主な行動・会議日程≫

3月 1日（火）3.1ビキニデー集会・墓参行進 9:30ＪＲ焼津駅南口出発
県社保協医療保険改善委員会 10:00（ZOOM会議）
3月 2日（水）2022年国民春闘中央決起集会 12:10日比谷野外音楽堂
ケア労働者の賃金上げろ！オンライン全国大集会 19:00（オンライン）
3月 3日（木）神奈川県消費者のつどい 10:00（オンライン）
3月 4日（金）県社保協第9回常幹 14:00（ZOOM会議）＋建設プラザ会議室
3月 5日（土）憲法共同センター全国交流会 13:30 全労連会館2F ホール＋（オンライン）
3月 6日（日）国際女性デー・オンライン講演会 14:00（オンライン）
3月 7日（月）生存権裁判を支える会事務局会議 10:00 平労 7F 会議室
神奈川憲法共同センター総会 15:30 へ慰労会館 4F 私教連会議室＋（オンライン）
3月 8日（火）国際女性デー・かながわ WOMAN`S ACTION　スタンディング行動 12:00 桜木町駅前
3月 9日（水）中央社保協運営委員会・介護障碍部会 13:30 医療労働会館＋（オンライン）
3月10日（木）2022年国民春闘全国統一行動日
東日本大震災かながわ追悼の夕べ 16:00 象の鼻パーク
3月11日（金）重税反対全国統一行動（県内18カ所で開催）
県社保協第9回幹事会 14:00（ZOOM会議）＋建設プラザ会議室
2月14日（月）消費税廃止各界連運営委員会 14:00 神商連会議室＋（ZOOM）
3月17日（木）ケア労働者の組織化に向けた相談会 16:00 平労会館 7F＋（ZOOM）
3月18日（金）国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平労会館 4F 私教連会議室＋（ZOOM）
3月23日（水）神奈川国会行動 10:00 国会議員会館（会場未確定）
3月24日（木）中央社保協・関東甲ブロック会議 10:00（ZOOM会議）
高齢期運動連絡会幹事会 14:00 年金者組合会議室＋（ZOOM）
消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
消費税ネット世話人会・事務局会議 18:30（ZOOM会議）
3月25日（金）県社保協介護保険改善委員会 15:30（ZOOM会議）
3月28日（月）神奈川県後期高齢者医療広域連合議会 14:30 藤沢商工会館ミナパーク